

令和3年度第1回米原市まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議 会議録

会 議 名	令和3年度第1回米原市まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議
開 催 日 時	令和3年10月15日（金）13時30分～15時30分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室4A
出席者および 欠席者	<p>【出席者】金井座長、萩原副座長、山崎委員、川瀬委員、馬淵委員、西脇委員、富岡委員、古川委員、中辻委員、川村委員（10名）</p> <p>【欠席者】古澤委員（1名）</p> <p>【事務局】政策推進部 鹿取部長、政策推進課 清水課長、松村課長補佐、富田</p>
議 題	<p>(1) 令和2年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の取組について</p> <p>(2) 令和2年度地方創生推進交付金活用事業について</p> <p>(3) 令和3年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の主要事業について</p>
結 論	<p>(1) 令和2年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の名所を活かした取組をより充実されたい。 ・農業者への支援として、地域住民が地域の物を安く購入できる（地産地消を促す）ような支援の仕組みも検討されたい。 ・伊吹そばのPR 充実にはまずは市民に親しまれる存在にする必要がある。 <p>(2) 令和2年度地方創生推進交付金活用事業について</p> <p>全ての事業においてコロナ禍の影響を大きく受け、予定どおりに事業展開できなかつたり、KPI を達成できなかつたりしたものの、アフターコロナを見据えた取組として市のPR 活動などはなされており、次年度以降への期待を込めて「地方創生に効果があった」と評価する。</p> <p>(3) 令和3年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の主要事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にこそ優しいまちづくりも充実されたい。「まいちゃん号」のネット予約も操作を支援するコーディネーター役が必要である。その一端としてデジタル機器の活用を得意とする学生たちの活用も検討されたい。 ・移住や空家利用の促進のためには「シェア」や「体験」できる仕組みを取り入れられたい。 ・情報発信の仕方を見直し、情報が市民に行き届くように改善されたい。市民記者や米原ファンをインフルエンサーとしたり、民間の力を借りるなどして情報発信の充実を図りながら、市民が地元への誇りを持つようになることが重要である。

<p>審 議 経 過</p> <p>(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委員および事務局の自己紹介</p> <p>3 座長、副座長の選出</p> <p>座長に金井委員、副座長に萩原委員を選出</p> <p>4 第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の概要および有識者会議の目標について</p> <p>(資料1に基づき事務局から説明)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 令和2年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の取組について</p> <p>(2) 令和2年度地方創生推進交付金活用事業について</p> <p>(資料2および資料3に基づき事務局から説明)</p>
<p>座長</p>	<p>この2年間はコロナの影響が大きかった中で、様々な取組を行っていると感じた。米原市は、様々なコンテンツを持っているので、それらをうまく活用すれば、面白い取組のきっかけになる。一番のポイントは、やはり「水」と「教育」で、特に「水」は、地域にとって非常に良い宝だと思う。これだけ多くの湧水があって、「びわ湖の素」という言い方が良いのかもしれないが、全国的に見ても「水」の名所はかなり栄えている。例えば、私は熊本県等とも関わっているが、やはり食べ物のおいしさや教育、子どもの成長等で大切なのは、農業が栄えていて食べ物がおいしいことでもあるので、この辺りをより明確にして欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>これだけの事業数に対して各部署でプランを立てて行い、成果の有無は様々あると思う。</p> <p>私の本業である農業の観点から言うと、国や県、市の政策でもあるが、新規農業者を増やしたり、農業を発展させたりする取組として直接農業者へ支援金が支払われている。今ちょうど滋賀県がインターネットを通じて「滋賀の幸」という割引キャンペーンを実施しているが、直接農業者にお金をつぎ込んでも、作ったものが売れなければ生活できないので、買い手に対する割引をしてはどうか。どういう仕組みにするか検討が必要であるが、米原に住んでいる人が米原産の食材を購入したら3割引にするなどの事業にすれば農業者の売上につながるので補助金がなくても農業者の支援につながる。今は、3割引の部分直接農業者に与えているので、良いものを作っても売れなかった場合、結果として支援にはつながらない。川上への支援ではなく、川下への支援を充実させれば、自動的に水は流れていくので、そういう施策をしてほしい。</p> <p>アプリなどを用いた様々な支払い方法や、対象を市民にするか、もう少し広範囲にするか、具体的な案までは思い至っていないが、買い手側が動くような支援があれば農業者としてありがたい。直接支援金が交付されるよりも作り手としては作ったものが売れる方がよい。そのことがやる気にもつながるし、たくさん売れることがわかれば、新規農業者も増えると思う。</p>

	<p>また「伊吹そば」はPRの仕方が弱い。今ちょうど花が咲き終わる頃であるが、地元の人にはあまり知られてない。地元の人に知ってもらい、買ったり食べたりしてほしい。観光客を呼んで「そば街道」をつくるというのも案として出ているが、地元の人には麺だけでも安く買えるようにしたり、生産量が確保できるのであれば、香川のうどんのように地元の人がささっと買って食べられるようにすれば地元で作っていることがわかるし、作り手側も自分の子や孫が食べるとなればやりがいも感じられる。</p> <p>公共交通について、田舎の人はバス停までが遠いのでバス停に駐輪場を作してほしい。俗に「サイクルアンドバスライド」と言われるが、近くのバス停に駐輪場を作ってもらえば、バス停まで距離があっても自転車で帰宅できるので、夜間の不安も減る。高齢者も自転車等でバス停までなら行けると思うが、現状は道端にバス停がポツンとあるだけなので、大変利用しづらい状況である。</p> <p>私はサラリーマン経験があるので、個人的にはコンビニのそばにバス停を置いてほしい。近江長岡駅と米原駅以外の駅は付近に何もなくて、通勤前に軽食等を買うこともできない。コンビニがあれば店員の人に自転車を少し見てもらうこともできると思う。</p>
座長	事務局から意見などいかがか。
事務局	<p>農業の件で、川下への支援を充実させていくことについて、確かに買い手側のメリットやインセンティブを与えるようなことはできていない状況である。今、PayPay キャンペーン等も実施しているが、直接生産者への支援に繋がっているとは言い切れないので、ある分野に特化してインセンティブを与えていくという仕組みも検討したい。</p> <p>伊吹そばも地元の人知らないのは、作っている人からすると盛り上がり欠け、力が入らないと思うので、市民へのPRを積極的に行いたい。</p> <p>公共交通機関の話題で、バス停に駐輪場をつくるという提案は、全ての場所に設置することは非常に厳しいが、メインのバス停に駐輪スペースを作るなど公共交通機関の利用率を上げて安定した運営を維持するためにも、貴重なアイデアとして検討していきたい。</p>
座長	<p>全てのバス停を移動することはできないが、ほかの自治体では実際にコンビニの前にバス停を置いたところ、買い物をしたい人にとってもコンビニ側にとっても良い話で、バスの運行会社側も遅延した時に苦情が少なくなったという成功事例がある。試行的に1か所で実践して良い傾向が見られれば、広範囲に展開できると良い。今の提案を含めて、小さな風穴から大きな成果につながるように取り組んではどうか。</p> <p>また、地産地消の観点からも地元の方が地域の産品を知らないのは一番厳しい</p>

	<p>状態である。そばの場合、アレルギーの問題で難しいが、本来は給食での活用が一番重要なポイントになると思うので、地元の方が地元の魅力を語れるようにする仕掛け作りが必要ではないか。</p>
委員	<p>米原市の空家相談が 900 件もあるにも関わらず、成約件数が 19 件しかないのは紹介物件が少ないことが原因か。</p>
事務局	<p>その通りである。現状、相談件数は大変多いが実際に紹介できる（住むことができる）物件が少ない。</p>
委員	<p>米原地酒プロジェクトは市内への PR は見られたが市外への PR もなされたのか。</p>
事務局	<p>令和 2 年度は、販売本数が限定されていたこともあり、orite 米原等でも紹介しながら販売を行った。市外への PR は積極的にはしていない。</p>
委員	<p>令和 2 年度は販売数量 1,100 本完売とのことであったが、今後の取組予定は。</p>
事務局	<p>今年度も販売に向けて生産している最中である。</p>
委員	<p>9 月に米原市で PayPay キャンペーンをされたが、市内で使える店舗リストが出されず、利用促進に欠けていたのではないか。商工会のウェブページも確認したが、出せないとのことであった。</p>
座長	<p>店舗リストは PayPay アプリから確認できる仕組みになっており、アプリ運営者側としてはアプリを積極的に活用してほしいという意図だろうと推測する。ほかの自治体でも一覧は公表していないと思う。</p>
委員	<p>加盟店が後から追加されるということもあり、リストを出す場合「いつ時点で」という注釈をつければ不可能ではなかったと思うが、1 か月という短期間であり、なおかつ PayPay アプリの地図で確認できるということもあったため、今回商工会としてはそのような対応とした。</p>
座長	<p>では次に、資料 3 の地方創生推進交付金の活用事業の評価について先程、事務局から各事業に対する自己評価があったが、皆さんの評価を伺いたい。</p> <p>まず「ピワイチ推進プロジェクト」について、事務局からは評価 3 「地方創生に効果があった（KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合）」ということであるが、異論や意見があればお</p>

	<p>願いたい。コロナの状況で観光が振るわなかったので、KPI の数値だけで評価するのはどうかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私も同意見である。</p>
<p>座長</p>	<p>取り組んだ内容の次年度以降への期待を含めて評価した方が良いと思う。では挙手で皆さんの意見を伺いたい。</p> <p>(結果は以下のとおり)</p> <p>評価1 「地方創生に非常に効果的であった」 0 票</p> <p>評価2 「地方創生に相当程度効果があった」 1 票</p> <p>評価3 「地方創生に効果があった」 7 票</p> <p>評価4 「地方創生に効果がなかった」 0 票</p>
<p>委員</p>	<p>評価2とした理由は、私の家族が自転車好きで私は特に何もしていないが、そんな私でも様々な場面で「ビワイチ」というワードを聞くようになったので一定のPR 効果があったものと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>私も米原駅にサイクルステーションが出来ていたので驚いた。全体的に見ると、今のように評価2の意見もあるが、事務局の提起通り評価3が多かったので「ビワイチ推進プロジェクト」は評価3でよろしいか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>座長</p>	<p>次に「スポーツレガシーを生かしたインバウンド獲得プロジェクト」について、インバウンドというのが気になるかもしれないが、皆さんの御意見はいかがか。オリンピックも無事に終わったが、様々な制約がある中で実施されたこともあり、やはり当初の期待どおりの効果を得るのは大変なことだと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>ホッケー関係者として意見すると、本来ニュージーランドのホッケー選手が合宿で本市を訪れる予定であった。全国から滋賀を選んでもらえるよう誘致をして、何度かニュージーランドの監督も来られて、すごく良いグラウンドだと大変気に入ってもらえていたので(合宿が中止され)、本当に残念でしかない。</p>
<p>座長</p>	<p>今回のコロナのような事態は過去に例のない初めてのことで、事業の評価を事務局は評価4「地方創生に効果がなかった」としているが、皆さんはいかがか。</p> <p>効果がなかったとは言い切れないと思う。「米原市」という地名が全国に発信できたということの意義は大きいことだと思うので、評価3としてはどうか。</p>

委員	「全く効果がなかった」というのは言い過ぎだと思うが、インバウンド向けツアーはコロナの影響で全然効果が上がらなかったのか。
事務局	この事業を「効果なし」としたのは、外国人にターゲットをあてた事業を進めていた中で外国人の観光客がほぼゼロであったためである。
座長	それはコロナの影響によるものであり、ニュージーランドを含めていうと「米原はホッケーのまち」という知名度が向上したことを踏まえると評価4というのは厳しすぎる。皆さんの意見としては評価3という方が多いように思う。
委員	熊野古道等で見られるように欧米の方は、京都や東京といった既存の観光地には飽きていて誰もいない、何もないような日本の原風景をひたすら歩くという旅へシフトしている状況がある。この観点でいうと米原の伊吹山をはじめとした山々は注目を集めると思うので、その面からインバウンドの事業者やビューローのようなところとタイアップすることに力を入れてはどうか。
座長	現状、インバウンドは全く期待できない状況で、評価をKPIの数字だけで見るのは難しいと思うが、外に対して発信していくこと、またこれを継続していくことが重要である。一番良い海外への発信方法は英語、スペイン語、中国語の3か国語と言われているが、少なくとも英語できちんと展開する必要があると思うので、今年度の取組は一つの資産になったと思う。 オリンピックの延期や観光客が激減しても、それまでの前準備でネットワークを構築してライフラインを作っているのだから基盤はできている。いつでも使えるようにメンテナンスをしておけば、数年後、インバウンド需要が高まった時に、スムーズに利用できるはずであり、評価3で良いかと思うがよろしいか。
委員一同	異議なし。
座長	最後に「戦国・琵琶湖 体験体感ツーリズムの深化プロジェクト」についてはいかがか。
委員	戦国という意味があまり感じられない取組だと感じた。ターゲット設定も弱い。戦国マニアの間では、米原市は非常に人気が高いので、京極氏だけでなく、長浜市や関ヶ原町も含め県を跨いだ広域連携にも力を入れたほうが良いのではないか。米原市は広域連携の観点で中心地（拠点）でもあるため、戦国や歴史的なツアーに重点を置いてはどうか。 また、戦国マニアにはツイッターでの情報発信が一番刺さるので、SNS上の山城が好きな人や城巡リストと言われているような人をインフルエンサーとして発

座長	<p>信する方法が良いのではないかと。令和2年度の駅前でのポスターの貼り出しは本当に入口の（初歩的な）部分であり、米原市はもっとマニアックな魅力があることをPRした方が効果的で「映える」確率が高いと思う。彦根城や大阪城といった歴史とは違う、もっと玄人好みの良さが米原市にはたくさんあることを開拓していく必要があると思う。</p> <p>今の話でターゲティングや深度についてはまだ議論の余地がある。コロナ禍でテレビでは数多くの歴史に関する発信を始めていて、マニアックな情報が多く出始めている。そこにヒットさせる方法で、先ほどの委員のような知恵を拝借しながらSNS等で深化させていくと良い。やはり山城跡地の説明をしてほしいという意見も多く寄せられているそうなので、そこをポイントに発信方法等を今後検討していく必要がある。</p> <p>評価としてはいかがか。</p>
委員	<p>県との連携事業ということであるが、県は米原市に対して何を望んでいるのか。他市町にも様々な歴史遺産があるなかで、米原市はどのような位置付けにされているのか。</p>
事務局	<p>この事業のきっかけは、明智光秀が大河ドラマになり、県内には光秀ゆかりの地が多くあるため、それを戦国と関連付けて取り組むこととした。米原市は明智光秀と直接の関係はないものの、戦国繋がりである石田三成や京極氏もあるので連携したものである。</p> <p>ただ、市内には数多くの埋もれた歴史資産があり、文化財の分野で活躍している職員の評価も高く、こういったことに対して玄人やマニアックなファンもいるので、今後の発信力を高めて活性化につなげたい。</p>
委員	<p>「光秀だから関連させて取り組んだ」という安易な方法ではなく、やはり専門家のアイデアを取り入れた上で、どういう戦略ができるかを検討してほしい。</p>
座長	<p>評価としてはいかがか。</p>
委員	<p>これまでの取組として伊吹そばなども関連付けてPRされているので、評価4は厳しいかと思う。</p>
座長	<p>2023年の大河ドラマは徳川家康で、米原市は家康ゆかりの地ではないものの、近い部分はあるので、期待を込めての評価としてはどうか。</p>
委員	<p>大河ドラマで言うと、次は石田三成を目指すことになると思うので、そこをPR</p>

	<p>の一つとして伝えてほしい。</p>
座長	<p>米原市には観音寺もあるので、寺を改造したり、お茶を返上したという話からカフェを作ったりすると人が集まると思う。</p>
委員	<p>今もブックカフェは営業されている。</p>
座長	<p>カフェはもう少し大々的にやっても良いのではないか。コーヒー企業が石田三成をCMで使おうとした際には多数の問い合わせがあったと聞いている。(結果的には難しいとのことであった。)大河ドラマは、2022年は源頼朝、2023年は徳川家康がテーマになる。大河ドラマの効果を活用することやマニア向けの取組を充実させることの両面での取組に期待をしたい。</p> <p>評価としては、今期はコロナの影響が大いにあったことと一方で、次につなげてほしいという期待を込めて評価3ということによろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
	<p>(3) 令和3年度まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の主要事業について (資料4に基づき事務局から説明)</p>
座長	<p>令和3年度の取組について意見や質問などいかがか。</p>
委員	<p>私の親族の大学生は今は東京で楽しんでいるようだが、ゆくゆくは滋賀に帰ってきたいと話している。私も他市で移住促進の仕事をしていたが、子育てや若者の移住対策は全国で取り組まれている。それ以外の分野で何かできないかと考えたときに「お年寄りにこそ優しいまちづくり」が大事ではないかと思う。</p> <p>市の取組で言うと「まいちゃん号(乗合タクシー)」の予約等にもっと力を入れて欲しい。他市の空家対策や移住者支援の中でも、年配の人で経済的に余裕があり、仕事もリタイアして残りの人生は好きなことをしたい、自由に過ごせる場所がほしいとのことで、遊び感覚で移住してくる人が相当数いる。そういう人の受入に力を入れてはどうか。「まいちゃん号」も運行しているが、やはり田舎は雪深く、結局車がないと病院や買い物にも行けないので、便利な都会が良いと言って市外へ出て行ってしまわれる。バスを1時間に1本走らせることよりも、「まいちゃん号」のような乗合タクシーを充実させることの方が重要だと思う。</p> <p>ネット予約ができるようになったということであるが、高齢者にとっては非常に難しい操作になるので、自治会の中で予約の支援をしてくれるコーディネーター役を置いて市からは補助金を出して支援してはどうか。もっと自治会や市民など地域のことを知っている人たちの意見を参考にして予約システムを作ったほうが</p>

座長	<p>良い。</p> <p>若者は自分たちより上の世代の人が生き生きと田舎暮らしを楽しんでいることを側で見ていく中で、ゆくゆくは米原に帰って仕事や子育てをして歳を重ねたいと思えるようになると思う。</p> <p>若い人や子育て世代の人を各自治体が奪い合っている状態で、移住定住対策のポイントは3つある。一つ目は交通手段、二つ目は医療で救急医療の対応はどうかということ、三つ目は教育で実務教育や国際教育といった交流であるので、子育て世代の人や歳を重ねて少し郊外に住みたい人へのアプローチが重要である。</p> <p>いわゆるZ世代（1990年後半から2000年代に生まれた世代で、物心がついた頃からインターネットやスマートフォンに慣れ親しんでいる。世界中の膨大な情報を閲覧できる環境にあるため、様々な価値観に触れる中で多様性を受け入れ、自分らしさを尊重する傾向が強いともいわれる。）はあまり都市部に対する憧れがないようで、田舎志向が強く、家族を大切にしたいという志向が強いように思う。特に高校生等は「エモい」という表現を使っており、昭和レトロを好み、当時流行していたものをインスタグラムで投稿し話題になっている。以前とは傾向が変わってきているので、そこは狙い目だと思う。</p>
副座長	<p>私も大学の授業途中でネットが止まってしまった際に学生に助けを求めたところ「無線LANでは無理だから、そこにある有線LANをつけて」と教えてくれた。Z世代は瞬時に空間的にこうした内容が理解できるので、そういった力を活用できると良い。</p>
座長	<p>この世代はリアルの世界を好み、映画もネットではなく映画館へ見に行き、本も電子書籍ではなく、本そのものを買いたいと聞く。シニア世代だけでなく、この世代をターゲットに取り組んでみるのも良いのではないかと。</p> <p>例えば、orite 米原と学生の協働で商品化する取組など。ネーミングやデザインも昔流行っていたものを好む傾向があるので、我々世代とは少し感覚が違う。米原市には昔ながらのものが様々残っていると思うので、それらを利用できると良い。また、おいしいものに対して非常に敏感で高く評価する傾向があるので、水のおいしさから、農作物等に対する憧れみたいなものを伝えてほしい。</p>
委員	<p>私はレンタルスペースやコワーキングといったことをしているが、利用者からは、これからは「シェアの時代」とであると聞く。空家も良いが、歳を重ねてから1人で住むには抵抗があるので、大きな空家をシェアハウスとして利用できると良い。東京の友人も米原への移住に興味を持っているが、空家を購入して住む前に試し期間が欲しいと言っている。シェアハウスであれば、自分の許す限りの期間で、気になる地域や季節を選ぶことができる。カーシェアなども含めて「シェ</p>

座長	<p>ア」の時代が来ていると思う。</p> <p>車も買うのではなく、借りることを選択する人が増えている。シェアのような形で先ほどの乗合タクシーにも通じるが、駅との往復に利用できると良い。また、企業を巻き込みながら、乗物のレンタル事業を試行的に導入してみてもどうか。自転車や高齢者向けの電動自転車などの移動手段を工夫できると良い。</p> <p>空家の場合、まずは試しに住んでみたいという希望をよく聞くので、短期で試してみれば次のステップに進めるような方法にすると、移住希望者が増える可能性があるのではないか。</p> <p>私としては、orite 米原と学生の協働事業をしてみてもどうかと思う。農産品から加工品まで様々な方法があると思う。</p>
委員	<p>orite 米原は商工会から離れ、今は（一社）びわ湖の素 DMO が担当されているが、商工会としても一度持ち帰って検討したい。</p>
委員	<p>個人的には DMO ではなく、orite 米原は商売のプロに委託したほうが良いのではないかと思う。</p>
座長	<p>最近話題のクラウドファンディングの一つで、発信者が自身の目線で商品を選んだ「シークレットボックス」というものがある。支援者からは何が入っているか分からないというものがあるが、かなり売れているようだ。</p> <p>例えば、戦国好きの人や若い人を市へ連れてきて、彼らが見て面白いと思ったものを箱に詰めてプレゼントするといった方法はどうか。まずは知ってもらい、興味を持ってもらうことが重要である。</p> <p>今の消費者は特定のもの欲しいというよりも、第三者のレコメンドに対して興味を持つことが多い。その人物のことを面白いと思ってもらう必要があるので、キーとなる人物を見つけることが一番のポイントとなる。プロのデザイナーや卸業者に任せた例もあるが、やはり地方のことを知ってファンになった人に発信してもらうことが今の共感世代には大切だと思う。</p>
委員	<p>「プロトタイピング」や「ユーザーエクスペリエンス」という言葉がある。一度試験的に製作し、販売してみて売れなかったら検証して、また試行するといったことであるが、米原はこういうことがやりやすい環境だと思う。</p>
座長	<p>「ここ滋賀」で一度売ってみるのも良い。地酒プロジェクトの取組で言えば、ここ滋賀で10本限定にして売る。いきなり1,100本を売るのではなく、10～20本の限定で、経緯や作り方などを店できちんとして売れば、売れ方が大きく変わると思うので検討されたい。1,100本しかないというのは逆に言えば価値が生ま</p>

	<p>れる。</p>
委員	<p>「まいちゃん号」の予約システムの件で、防災タブレットが自治会に配布されたが、それを使って予約できないのか。</p>
事務局	<p>予約専用のアプリをインストールすれば利用できるかと思う。 (※担当課へ確認したところ、防災タブレットは災害時のために専用の回線を利用しており、ほかのアプリをインストールすることはできないとのこと。) ただ、高齢者の要望を聞いて、実際にタブレットで予約するためのコーディネーター役の人が必要になってくると思う。コロナワクチンのネット予約でも高齢者にとってはかなり難しく、自治会の方に手伝っていただいたので、「まいちゃん号」の予約についても支援する人材が必要だと感じている。</p>
委員	<p>地理的な問題もあるが、学生は喜んで活動すると思う。ワクチン接種の予約も、学生が有償ボランティアとして活動していた自治体もあった。</p>
委員	<p>「まいばらんど」では様々なことを発信されていて、私自身も SNS を利用して様々な情報を見ているが、そんな中でも今日の資料を見て初めて知った取組がたくさんあった。市のシティセールスとして良い戦略があるのに、SNS を活用している者でも見落としてしまう取組があるのは非常に残念である。 市と市民の中間に当たるようなコーディネーターやインフルエンサーとなる民間人にこの戦略を発信してもらえれば、もっと情報が行き届くと思う。 米原オータムフェス（令和2年秋にビワイチ推進や密を避けた新たな観光周遊イベントとして実施した事業で、市内を周遊しながら施設利用や買い物をお得にできるクーポン券を販売した。）も利用客には全く知られていなかった。情報発信に対してきちんと対価を支払って取り組んではどうかと思う。</p>
事務局	<p>市長も「まいばらんど」の情報発信には関心を持って注目している。 行政では手に負えなかったり、全然進歩が見られない部分は民間のノウハウを借りて取り組んでいけないか、検討したい。</p>
座長	<p>インフルエンサーとなると、費用の問題等もあるので個人的にはあまり勧められないが、市民記者のような形で市民が自分たちで情報発信する習慣をつけられるように取り組んではどうか。市としてハッシュタグ付けを推奨してイベント情報を発信したり、単体のイベント名だけでなく、一般的なハッシュタグを付けて検索されやすいように工夫する方法や写真の撮り方などを知らせる講習会を開いたりして、地道で費用もあまりかけない方法もある。情報発信は絶対に必要なので「まいばらんど」などとも一緒に絡めながら、様々な人に発信してもらえると</p>

<p>委員一同</p> <p>座長</p>	<p>良い。</p> <p>市外へ出た人の中には「今日の風景」や「今日の夕日」などの投稿で癒される人もたくさんいるだろうし、投稿を見て「楽しい」と感じてもらえればアピールになると思う。</p> <p>市だけではできないこともあると思うので、市民を巻き込みながらできると良い。市民にとっても地元としてのプライドを持ってもらうことがポイントになる。</p> <p>ほかに皆さんから御意見はいかがか。</p> <p>意見なし。</p> <p>委員の皆さんから様々な意見をいただき、市の取組としてできること、できないこと（時間がかかること）など様々あると思うが事務局には市役所内部で共有いただきたい。</p> <p>以上で、本日の議事を終了する。</p> <p>6 その他</p> <p>今回は令和4年2～3月を目途に開催する。</p> <p>7 閉会</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0人</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>
<p>担当課</p>	<p>政策推進課（内線4232）</p>